

職員

放課後等デイサービス自己評価表(R2年度)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・基準以上のスペース確保ができています。・環境を整える。・パーテーションなどを活用するなど、個々に応じた環境設定を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			・有休の人員配置でやらないといけない職場は大変。法律上の基本人員は満たしているが、利用児の状態により厳しい日もある(有休時)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	14%		・見守りを十分に行い、あえてオールバリアフリーにはしていない。・訓練の一環の為に、見守りを十分に行い、オールバリアフリーにしていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			・PDCAを意識して取り組み業務がスムーズに流れるようにしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・HPで子どもの様子などを更新し、公開している。 ・HP上で公開している事を周知していきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	57%	43%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	86%	14%		・毎月の研修はあるが全員が一緒に行う研修(外部講師など)があるとよりよくなるのでは。様々な視点、感点を養う為にオンライン等を活用するなど、機会を増やしていきたい
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・強化週間を用いて、スタッフ全員で共通理解をし、アセスメント計画に繁栄することなどを続けて行きたい。・強化週間を取り入れ、子どもや保護者支援などの課題に取り組んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・アセスメントシートを皆で振り返ることで個々に合った支援に取り組む事を継続する。 ・アセスメントシートなどを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・子どもの状況を全体共有し話し合いを行い検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・ミーティング等でアイデアを出し合って取り組んでいる。 ・年度初めに大まかな活動計画を立てる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			・事前に計画を立て外出の場所などに十分配慮している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			・気付きノートを使い休みのスタッフにも同名できるようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・色々な強化週間に取り組んだことで見直して気づき立て直すことも出来ている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			・送迎の際に学校側とコミュニケーションを図るよう心掛けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		100%		・現時点では、医療ケアが必要な児がいない為。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			・各関係機関と情報共有を図っている。 ・見学に行く、電話で様子を聞く等対応している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			・今後も各関係機関と情報共有を図る。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		・各関係機関と情報共有を図っていく。 ・センターから講師として来ていただく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14%		86%	・障害のない子ども達との交流を深められるよう、考えていきたいが、現在コロナの為、難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			・他の事業所との交流を図る機会として毎回、出席する。 ・現在は、zoomで参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・専門的な面からも話が出来るように、日々勉強、研修などしていく。 ・連絡帳と送迎時の対面でしっかりと伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	86%	14%		・外部講師による研修を行った後、保育主任により保護者に指導研修する予定だったが、コロナの為延期になっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	86%	14%		・契約時及び面談の時にしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・常に信頼関係を築けるように対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14%	43%	43%	・コロナの事もあり、今年度は行えていないが事業所見学などを行っている。今年度においては、事業所での子ども同士の関わりを伝えたことにより保護者間での連携に繋がった

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・苦情を受ける体制のある事は、お知らせしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・HPにて公表している。 ・来年度は、年に2回程度のお便りを計画している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	86%	14%			・コロナなので行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	71%	29%			・職員への周知はしてあるが、保護者へは徹底されていない為、今後、発信の方法を検討している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				・スタッフ間の関係をよく保つように心掛けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	14%	86%			・原在対象児がいない為、行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	86%	14%			・保護者が医師の指示書を基に情報提供し、確認の上で対応している。・食物の提供に当たっては、事前に現物を保護者に確認をとっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				